

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

令和3年より四日市版コミュニティスクールの指定を受け西陵中学校運営協議会が発足し、3年目を終えようとしています。これは、本校の学校づくりビジョンの柱のひとつである「地域とともにある学校の構築」を推進するための大きな力となっています。

保護者や地域の方々の様々な視点からの意見をいただき、本校の教育方針や教育計画の作成に活かし、学校経営の改善を図ることで、地域に信頼される学校づくりを目指しています。



2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

（1）教育活動の実践事例

①地域とともにある学校

本校の運営協議会は、1年間で4回の協議会と自由参加型の行事参観を開催しました。協議会では学校公開日には授業の様子を、体育祭や文化祭といった行事では、生徒や学校の状況を視察の上、意見交流を行いました。

本校が推進しているキャリア学習として、地域の人口が減少していく問題に切り込む学習を始めるにあたり、生徒は「中学生として何をすればよいか」について考える機会がありました。これについても運営協議会として地域の大人に何ができるかという視点で、共に考えていただくことができました。

また、地域防災の担い手としての中学生を育てるために、毎年開催している消防署の方を講師に招き防災学習を行うのに加え、運営協議会委員の後押しを受けて、各居住地域の防災訓練に全中学生を分散参加させて、いざ災害が起こった時に中学生は防災戦力として自助・共助ができるように、搬送法や心肺蘇生法の方法などを学びました。



②地域や保護者との交流・協働した活動

今年度も2日間、教育活動を公開する学校公開日を設け、保護者や地域関係者など多くの方に学校の様子を知っていただく機会としました。他にも、体育

祭、文化祭といった行事日にも学校公開を行ってきました。校地内の環境整備活動（除草作業）もPTAや地域の方と生徒が協力し行うことができました。

また、学校ホームページを毎日のように更新し、授業の様子や授業内容、学習のポイントなどを発信しました。校長室だよりを地域の回覧板に載せ、学校を訪れる機会の少ない地域住民の方にも学校の様子を知っていただく機会を設けました。



③子どもたちの安全安心を守る活動

令和3年より、交通安全活動推進モデル校に指定され、日々、自転車の乗り方を中心に交通安全に関する啓発を行うなど、登下校時の交通安全を呼びかけました。PTAも毎月1回、通学路の危険個所に立っての交通指導を行っています。また、保護者が校門に立って登校時の生徒とふれあいの機会を持つあいさつ運動もおこなっています。



④“未来”をたくましくきり拓く為の活動

本校は「“未来”をたくましくきり拓く生徒の育成」を学校教育目標に掲げ、地域の未来を担う人材育成を目指した取組を校区の小学校と連携をとりながら行っています。これらの積み重ねが、地域の未来につながっていくと考えます。他にも地域の団体と協力して、人権標語や防災標語の活動に取り組みました。また、生徒会が発起人となってピンクシャツ運動といった人権運動にも取り組んでいます。

コロナ禍で実施できなかった職場体験学習も事業所の協力を得て、本年度から復活し、地域の中に出て活動する中学生の貴重な経験の場としました。

キャリア講演会も開催し、地域で活躍する経営者や世界を相手に取引をする事業所の社長をお招きして「働く」ことの意義や喜び、難しさなどについて学び、今後の生き方につなげられるよう学習しました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

3年目を迎えた運営協議会ですが、地域で活躍されている皆さんに委員になっていただき、本校の様子を知っていただく機会が増えました。特に今年は日中の会議が4回中3回あり、生徒の活動の様子を見て頂く機会が増えたことで、より一層、活発な意見を頂くことができました。

コロナ禍の制限が緩和され、ここ数年の間自粛をしていた活動が復活し、地

域の中で学ぶ生徒の姿が見られました。

校区内の各町の回覧板に学校長だよりをはさみ込んで回覧していただいたり、学校ホームページを毎日のように更新することで学校の情報を広く発信し、学校の様子を保護者や地域に知っていただく機会を持ちました。

学校としては、「学校規模適正化」の指定を受けたことにより、学校や地域を見直し、より深く地域とつながる、地域の為に中学生としてできることを考える、といった軸足が定まりました。来年度以降の活動につなげていきたいと考えています。



3 今後に向けて

生徒の健やかな成長を促すための方策として、未来をたくましくきり拓く生徒を育成するために、そして地域の将来を担う人材を育成するために、コミュニティスクールに取り組みます。その為に、この地域に合った、この地域に根差した、西陵中学校独自のスタイルを確立していくために、今後も委員の皆様のご協力を頂きながら、取組を推進させていただきます。

別紙B

令和5年度 四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立 西陵中 学校

委員長 牧田 利幸

校長 森田 久

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回運営協議会(5/12)	委員委嘱（教育委員会より）・委員長選出 本年度の活動について 校内視察
6		
7	第2回運営協議会(7/10)	学校規模適正化検討対象校の指定について 1学期の教育活動についての報告 学校給食の喫食
8		
9		
10	体育祭(10/3) 文化祭見学(10/31) 第3回運営協議会(10/31)	体育祭（自由参観） 文化祭の見学および意見交流 交通安全について・電動自転車の扱いについて
11	学校公開日(11/16)	
12		
1		
2	第4回運営協議会(2/2) キャリア講演会(2/13)	学校指定物品について 各地区の防災訓練への生徒の参加について 「君たちはどう生きるか」講演会へ参加
3	卒業証書授与式(3/7)	